

ハッカソン・パネル

- IETFハッカソン -

はじめに

- IETFハッカソンとは、開発者やIETF参加者が集まり、ドラフト段階を含む仕様に関連する、ライブラリ実装・サンプルコード実装・相互接続テストなどについて協力して行うためのイベントです。競争形式ではなく、自由な参加とコラボレーションを重視しており、ハイブリッドで行われます。
- “Running code”を通じて技術を検証・共有し、相互運用性の課題を確認/検討する場。協働することで理解が深まり、確かな理解や実装に向けた活動として位置づけられる。

⇒ お考えを伺っていきます。ご参加の皆様にも伺いますのでご準備をお願いいたします。

※進行上の都合ですべてを伺うことができないことがあります。ご了承ください。

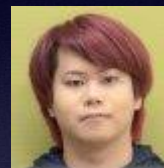
ハッカソン・パネル

- IETFハッカソン-

ご発言はご所属組織を代表するものではありません。
パネルディスカッションのためのご発言であり、将来に渡って何かを保証するものではありません。



酒見由美さん



大谷亘さん

モデレーター 木村泰司

今回IETFハッカソンに出られた動機を
教えてください。

今回IETFハッカソンに出られた動機を 教えてください。

今回は世界中で動くRPKI
キャッシュサーバの**実際の
動作を調べて標準的なベス
トプラクティスに反映する
ために**ハッカソンに出まし
た。



大谷亘さん

机上の標準化仕様の「**検討**」
から「**実装**」へと橋渡しする
場だと考えているから。



酒見由美さん

広い視野で見たときのハッカソンの魅力と
おすすめる理由は？

広い視野で見たときのハッカソンの魅力と おすすめする理由は？

様々な分野の専門家たちが集
うことで**新しい気づきや視点
を得る**ことができるため



酒見由美さん

著名な RFC 著者をはじめ、その
分野の**第一線で running code
を動かしている人たち**と一緒に
調査・開発できるのが魅力です。
順位や賞金ではなく**ただ世界に
貢献することを目的**に集まって
いる人たちと意見をかわせます。



大谷亘さん

IETFやハッカソンにみられる
“利他”のような視点と国内の
技術業界に思うこと

IETFやハッカソンにみられる “利他”のような視点と国内の 技術業界に思うこと

自分には「利他」と言うつもりはあまりなく、**自分がより良いものを使うために良いものを作って、隠す理由もない**のでシェアしているつもりです。国内外の垣根を超えてこのマインドが共有できると嬉しいです。



大谷亘さん

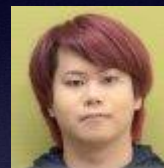
“Give first”のマインドが大事。日本企業の多くはTake気質が強いかも



酒見由美さん



酒見由美さん



大谷亘さん

お持ち帰り 追加情報

■ IETF 123

- IETF 124 Hackathon Wiki
<https://wiki.ietf.org/en/meeting/124/hackathon>
- IETF 124 Montreal
<https://www.ietf.org/meeting/124/>

■ 今後のIETF

- IETF 124 : 2025年11月1日～7日 カナダ・モントリオール
- IETF 125 : 2026年3月14日～20日 中国・深圳
- IETF 126 : 2026年7月18日～24日 オーストリア・ウィーン
- IETF 127 : 2026年11月14日～20日 米国・サンフランシスコ
- IETF 128 : 2027年3月6日～12日 (アジア)

■ IETF123に関する記事など

- IETF国際動向 – 第123回IETFミーティング概要とBOFより –
<https://blog.nic.ad.jp/2025/11018/>
- IETF国際動向 – 第123回IETFミーティングハッカソン参加記
<https://blog.nic.ad.jp/2025/11071/>
- [第123回IETF Meeting] DNS関連WGの状況
<https://jprs.jp/related-info/event/2025/IE TF123-02.html>
- IEPG at IETF 123
<https://blog.apnic.net/2025/08/01/iepg-at-ietf-123/>
- Congestion control at IETF 123
<https://blog.apnic.net/2025/08/18/congestion-control-at-ietf-123/>